Mishima.syk#12

@kochi0603 2018.06.22

WEBRTC + LABOWORK

自己紹介

▶ 製薬会社でITインフラ担当してます。

>2月から実験の研究支援も行うことに。

トプログラムを書けない日々が続いてます。

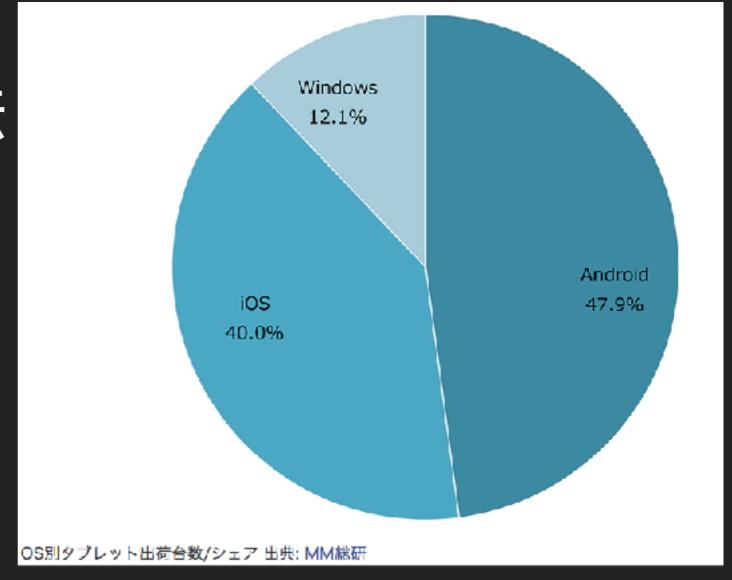
実験室にもITを

- ト居室以外はあまりITが活用されていない
 - ▶試薬探し(登録)、写真撮影、調べ物
 - カメラを使ったアプリを作りたい
 - ▶ タブレット?2in1?

タブレット向けのアプリ

> 2in1も含めると、混沌としてる(2017)

アプリの提供方法



https://pc.watch.impress.co.jp/docs/news/1107138.html

とりあえず、WEBだね

- Chromeで書いてみて、(余力があれば)Electronで配布できれば素敵
 - でも、カメラを使ったアプリ作ったことないな

WEBRTC

- WebRTC(Web Real-Time Communication)
 - ▶対応ブラウザ(HTML5)が増えてきた
 - Crome, Firefox, Opera, Edge...
 - ▶カメラ等のデバイスを認識し、制御可能 ● カメラ等のデバイスを認識し、制御可能
 - ▶でも、環境次第で認識しないこともある。
 - ▶APIは結構見直される。

Qiitaにあるね

▶ カメラ(Video)を使って、<u>画像を抽出し、</u>

Decodeする



https://qiita.com/tkyk0317/items/7d7f327cda48086f894f

GITHUBに置いた

- 記事をコピーして動くようにしました
 - ▶jQueryに書き換えた、SMILEを読めば構造式表示。
- ▶コード
 - https://github.com/kochi0603/12
- アプリ
 - http://kochi0603.github.io/12
 - ▶ chrome, firefox, opera で動作。(動作しない環境もある)
 - ▶PC、タブレットでアクセス

FaceTime HD Camera

Stop

Auto

Start

AUTO: QRコードを認識するまで繰り返す(1秒毎)

クリックで画像抽出&デコード

ログ

構造式

抽出画像

QR I - K

▶ https://qr.quel.jp/ でテキストにSMILES

を埋め込んでQRコード作成する





流れ:

videoストリームから

コード

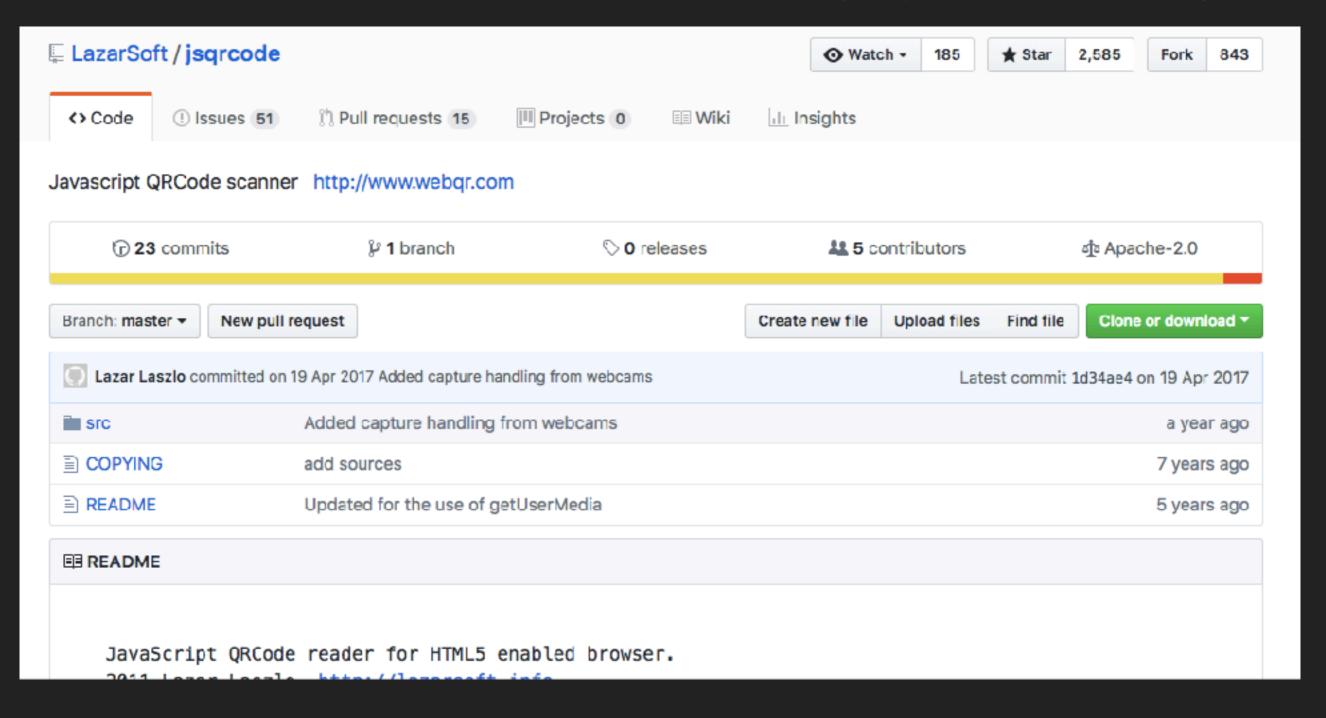
```
ImageCaptureでbitmapを抽
/*
                                                   出しcanvasに貼り付ける
* ORコードを解読する
function decodeQR(){
       //outputLog('decode QR');
       if( imageCapture ) {
              imageCapture.takePhoto()
                      .then( blob => createImageBitmap( blob ) )
                      .then( function( imgObj ){
                             //outputLog( "IMG:" + img0bj.width + " " + img0bj.height );
                             let canvasWidth = $('#canvas1').get(0).width;
                             let canvasHeight = $('#canvas1').get(0).height;
                             // タブレットで90°傾けた時に縦横比を維持するための比
                             let ratio1 = imgObj.height / imgObj.width;
                             let ratio2 = canvasWidth / imgObj.width;
                             $('#canvas1').get(0).height = canvasWidth * ratio1;
                             canvasWidth = $('#canvas1').get(0).width;
                             canvasHeight = $('#canvas1').get(0).height;
                             //outputLog( "CAN:" + canvasWidth + " " + canvasHeight );
                             let w = canvasWidth * ratio2:
                             let h = w * ratio1;
                             // キャプチャしたイメージをCANVASに貼りつける
                             $('#canvas1').get(0).getContext('2d').clearRect( 0, 0, imgObj.width, imgObj.height );
                             $('#canvas1').get(0).getContext('2d').drawImage( imgObj, 0, 0, imgObj.width, imgObj.hei
```

まとめ

- ▶WebRTCのAPI(一部だけど)使い易い
 - ▶けど動作しない環境は結構ある
- ▶ライブラリ
 - ▶ QRコード(jsqrcode)よりもいいのありそう(DataMatrixに対応したい)
 - ▶試薬コードの読み取り程度ならもう一工夫で投入できる感じ
 - ▶SMILES Drawerは軽量。できれば、創薬ちゃんにリプして描画してもらうのも ありかな。会社だと難しいけど。
 - ▶OCRは、Tesseractが認識率良いけど、外部サーバに飛ばしているのでやめた。ocradは画像の2値化処理とかしてからじゃないと認識率悪い

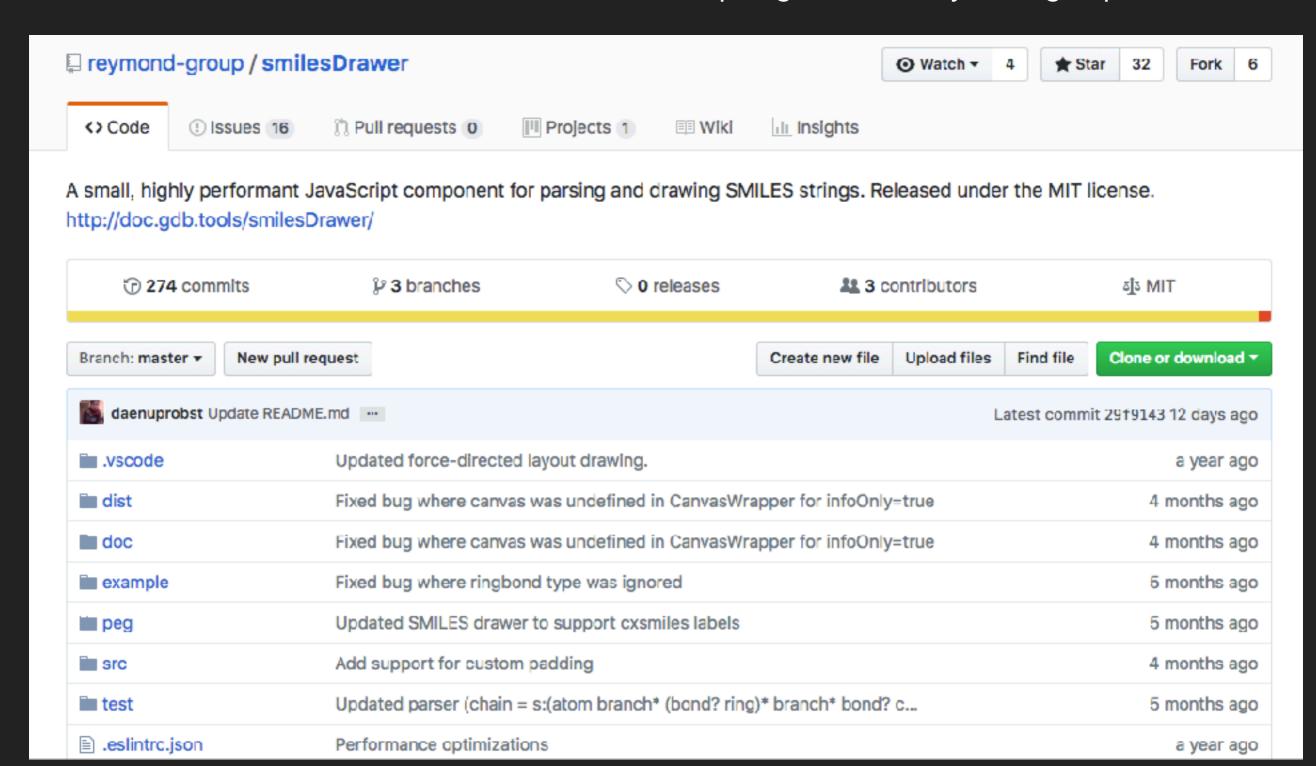
JSQRCODE

https://github.com/LazarSoft/jsqrcode



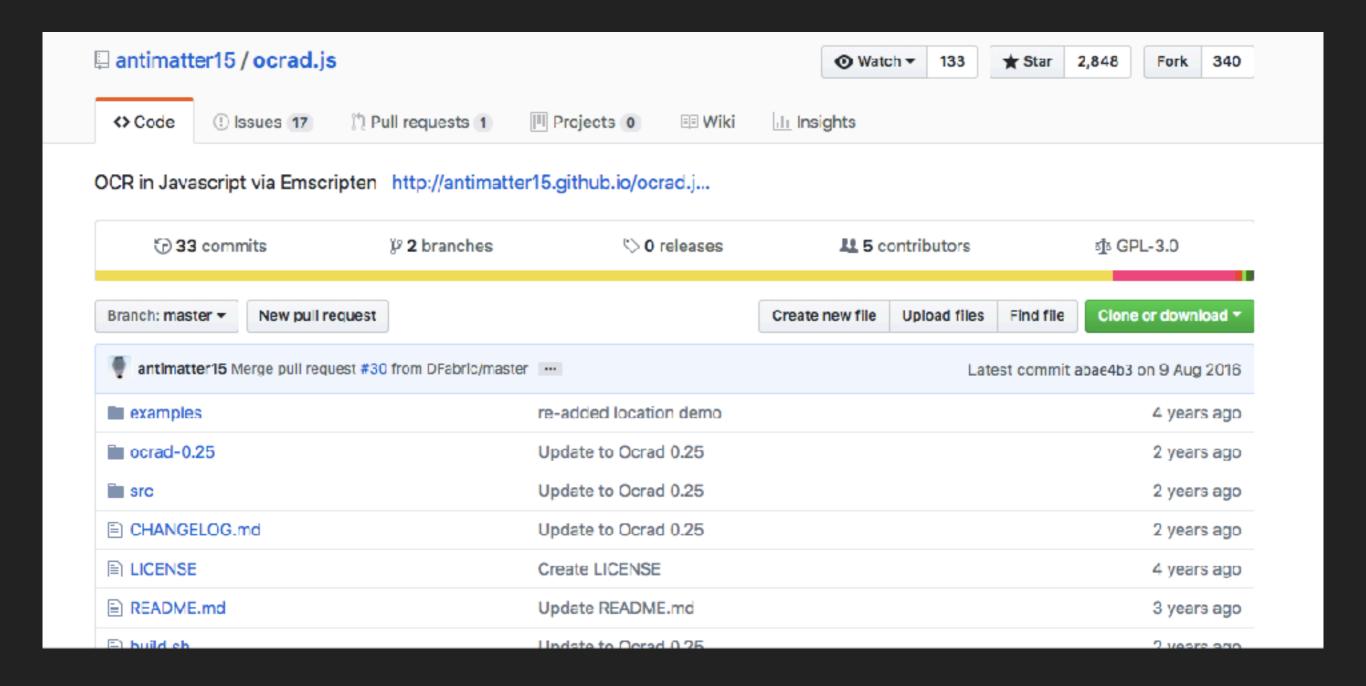
SMILESDRAWER

https://github.com/reymond-group/smilesDrawer



OCRAD

https://github.com/antimatter15/ocrad.js/



TESSERACT

https://github.com/tesseract-ocr/tesseract

